

Care & Communication

ケア&コミュニケーション



THE FRONT LINE

メンテナンスを
通じて口腔の健康を守る
予防歯科を実践

医療法人社団あおば会
市野歯科医院 院長
市野 孝昌 先生
市野歯科医院 歯科衛生士
市野 史乃 さん

P01-06



DENTAL REPORT

いち早く訪問歯科診療に
取り組み、
得意のIT技術を
診療と介護に生かす

医療法人社団皓有会
小山歯科・矯正歯科クリニック
ゆりの木歯科・矯正歯科クリニック 院長
小山 和泉 先生

P07-10



INSIDE REPORT

Nd:YAGレーザーを筆頭に
施術と知識の研鑽を重ね
歯を守る最善の治療に
真摯に取り組む

代官山松山歯科 院長
松山 智子 先生

P11-14



DOCTOR'S TALK

Nd:YAGレーザー 誌上講座

多様な症例に使用できる
Nd:YAGレーザーの臨床応用 Part.2

医療法人社団 Ku Smile
くらた歯科クリニック 院長
蔵田 和史 先生

P15-18



患者が重なっても同時に対応しやすい
余裕のある受付



初診の患者でもわかりやすい動線の受付と待合室



自動精算機



待合室には子ども連れなどが
利用しやすいソファも設置

メンテナンスを 通じて口腔の健康を守る 予防歯科を実践

「市野歯科医院」は、来院するほぼすべての患者に対してリスク評価に基づいたメンテナンスを実践している。その経緯と現在を伺ってみた。

医療法人社団あおば会 市野歯科医院
院長 市野 孝昌 先生
歯科衛生士 市野 史乃 さん



山形への赴任を機に 理想の歯科医院像が明確に

「市野歯科医院」があるのは、静岡県のJR磐田駅から車で5分ほどの住宅街。現在地に新築移転したのは、2015年8月のこと。前年に父から歯科医院を継承した市野孝昌院長は、徹底した予防歯科を実践するため、新たな建物と設備でリスタートを切った。

「市野歯科医院」は、山形県酒田市にある「日吉歯科診療所」の診療スタイルを踏襲している。その診療は、まず画像撮影や唾液検査など、多面的な検査を通してデータを収集し、口腔内のリスク評価を行う。そして、その評価を元に、効果的な予防計画を立てる。計画に沿って定期的なメンテナンスを継続することで、虫歯や歯周病を防ぐという手法だ。

市野院長が参考にした理由は、歯科衛生士である妻の史乃さんとともに、日吉歯科診療所で学んできたからだ。「日吉歯科診療所の熊谷崇先生との出会いは、ご縁としか言いようがありません。私の出身大学は、横浜の鶴見大学歯学部です。医局から関連病院へ派遣されなければ、山形に住むことはなかったでしょう。全国的に有名な日吉歯科診療所ですから、私も見学のチャンスを得たときは、うれしかったですね」(市野院長)

命の寿命と歯の寿命を逆転させることを掲げた理念、生涯にわたり、口腔の健全な健康を維持するという目

ジョンに、市野院長は深い共感を覚えた。

「患者さんたちの高い健康観にも感動しました。お年寄りの多くに数多く歯が残っていましたが、カリエスフリーのお子さんも大勢いました。長年の成果を目の当たりにして、こんな歯科医院を自分の故郷に作りたいと思ったのです」(市野院長)

市野院長は総合病院の勤務を続けながら、休日に日吉歯科診療所での見学を続けた。その後、山形市の歯科医院に移ってからも通い続けた。2010年からは勤務医になり、さらに研鑽を重ねた。

「私が口腔外科を専攻したのは、インプラントが注目され、外科ができたほうが、将来、父の歯科医院を受け継いだときに役立つという考えからでした。でも、実際に働いてみると、自分が理想とする歯科と少し違う気がしたのです。そんなときに熊谷先生と出会い、将来像がはっきりしました」(市野院長)

チーム医療を支えるため 歯科衛生士になることを決意

リスク評価から計画に基づいたメンテナンスまで一貫した日吉歯科診療所の「メディカルトリートメントモデル(MTM)」を実践するには、歯科医師だけでは難しい。歯科衛生士との連携も必須だ。「市野歯科医院」で

治療室



歯科医師と歯科衛生士の動線を考えた個室診療室。治療の各部屋にレントゲンも完備

は、史乃さんがしっかりと支えている。

じつは、市野院長の山形への赴任を機に結婚し、移り住んだ頃、史乃さんは自分が歯科衛生士になるとは夢にも思っていなかった。「夫が開業したら、事務を手伝うことはあるかもしれない」と、ぼんやり考える程度だった。

それが一転。日吉歯科診療所に受付として働き始めたことが転機になった。

「熊谷先生から、開業医の妻になるなら、歯科医院の内側を知っていたほうがいいとアドバイスされたのです。それで受付として働き始めたのですが、歯科医院に対する考え方が180度、変わりました。歯科医院は痛くなったら行くところと思っていたのですが、日吉歯科診療所はまったく違ってました。まず、院内が清潔で安心感を与えるような空間です。そして、患者さんも健康に対する高い意欲を持って来院されています。こんな歯科医院が身近にあって欲しいと思いました」(史乃さん)

日吉歯科診療所をモデルにした歯科医院を開業したいと、2人の目標は固まった。そして、史乃さんは市野院長を支えたいと、歯科衛生士になることを決意する。

市野院長は、当時をこう振り返る。「妻から歯科衛生士になりたいと聞いたときには、驚きました。学校が3年制に変わったときで、通う期間が長い。将来、子どもができたときに、育児と仕事の両立で悩むかもしれません。負担の大きさを心配しました」(市野院長)

しかし、史乃さんの決意は固かった。市野院長が目指す歯科医院には、頼れる歯科衛生士とのチーム医療が必須と痛感していたからだ。

史乃さんが歯科衛生士になることが決まってからは、2人の絆はより強固になった。歯科衛生士学校に入学したときは、山形市で同居していたが、市野院長が日吉歯科診療所に勤務するようになってからは、一時的に別居婚になった。2年生のときは、東日本大震災にも見舞われ

メンテナンス室



一人の歯科衛生士が担当するメンテナンス用の個室



カウンセリングルーム。視線の位置をくもりガラスにしてプライバシーにも配慮



患者用「健康ファイル」

医療側とのコミュニケーションツールでもある、治療やメンテナンスの履歴を詳細に記録した「健康ファイル」。患者に渡し、自分の記録を見返してもらう。治療開始を待つ間、ファイルをめくる患者が多いという

た。2人で日吉歯科診療所のセミナーに参加したり、歯科衛生士学校の長期休暇中、見学することもあった。「卒業してすぐの開業を考えると、同級生に比べ、臨床経験を積む期間がどうしても短くなります。ですから、3年間の学生生活のうちに、学べることはすべて学ぶつもりで通いました」(史乃さん)

歯科衛生士学校を卒業した史乃さんは、日吉歯科診療所に勤務した。最初の1年は、市野院長のアシスタントとして治療を経験。翌年はメンテナンスの経験を積んだ。そして、2人は磐田市に戻り、開業準備に入ったのである。

働きやすい院内にこだわり ファイルで患者の健康観を刺激

現在、「市野歯科医院」のチェアは10台。将来的には

2階にさらに10台増やすことが可能だ。

建物の設計では、すべて個室診療にすること、消毒・滅菌室を診療スペースと明確に区分するなど、世界標準の歯科医院としての設備にこだわった。2階にも消毒・滅菌室を設けるスペースが確保されている。「外国の方が当院で診療を受けても海外の診療室と引けをとらないよう世界標準の診療室を目指しました。勤務医時代に海外の一流の先生方の診療室を見学する機会があったこと、また日吉歯科診療所を参考にした部分を加え働きやすいように細かい部分まで2人で相談しました。個室を例に挙げれば、ユニットとキャビネットの配置です。ドクターとアシスタントでは立つ場所が違うので、使いやすい位置が変わってきます。メジャーで何度も測って、双方に最適な距離を探したり、キャビネットの奥行きや高さも調整しました」(市野院長)

外観の歯科医院名や看板を目立たなくしたのも、予



診療室の中央にある消毒・滅菌室。清潔な環境を守るため個室化



美しく整理整頓された消毒・滅菌室の内部

防を重視する理念を十分に理解してくれる患者に来院して欲しいという思いからだ。

父から受け継いだ頃は、唾液検査を筆頭にリスク評価の検査に抵抗を感じる患者も少なくなかった。しかし、根気よく予防の大切さを伝え、「MTM」の効果を実感する患者が増えるにつれて、経営は軌道に乗っていった。「患者さんの多くは、口の悩みで苦労されてきました。みなさん、早く来ればよかったとおっしゃってくれるのが、うれしいです。口臭がなくなったり、風邪を引きにくくなったり。変化に気づくと、健康観が高まりますね」(市野院長)

「市野歯科医院」では、診療の記録をまとめたファイルを患者に渡している。ファイルには、リスク評価のデータやメンテナンスの内容、治療を受けた場合は、どこをどう治療したのかなどの記録がすべて紙の形で綴じられている。患者は毎回、このファイルを持って受診するのだ。「患者さんは歯科でどんなことをされたのか、よくわかっていないことが多いんです。そこで、受診した日の内容を紙に記載し、ファイルに綴じてお渡ししています。患者さんはいつでも記録が見直せますし、メンテナンスを継続するうちにホームケアで足りない部分を自覚することができます。ファイルは、患者さんの健康意識を向上させるのに、とても役立つツールなのです」(史乃さん)

ホームドクターとして専門医や 歯科衛生士との連携・教育を重視

隅々にまで患者を大切にしたいという思いが機能が行き届いている「市野歯科医院」だが、市野院長が「軌道に乗っ

てきた」と感じたのは、開業から5年ほどが経った頃だ。スタッフが成長し、院内のオペレーションがスムーズになってきたことが大きかった。

「スタッフや患者さんに診療方針を理解してもらうのに苦労したこともあります。でも今は、僕を含めて常勤の歯科医師が2名、非常勤の歯科医師が1名、非常勤の矯正歯科医が1名、歯科衛生士が14名、歯科技工士が2名、受付が2名、歯科衛生士学校へ通う歯科助手が1名と、チーム医療の体制が整い、とてもよいコミュニケーションができています。僕はスーパードクターになろうとは思っていません。一般歯科のホームドクターという役割をしっかり務め、それ以外は専門の先生に任せたり、歯科衛生士たちの力を借りたりして、患者さんがベストの選択ができる環境を作っていきたいと思っています」(市野院長)

市野院長の言葉を受けて、史乃さんは「歯科衛生士の教育も大切」と話す。「市野歯科医院」では担当制を採用し、一人の歯科衛生士が一つの個室を受け持っている。予約管理も歯科衛生士の仕事だ。責任の範囲が広いだけに、歯科衛生士の教育には時間をかけている。「まさらかな状態から覚えて欲しいので、毎年1~2名の新卒を採用しています。最初は、院長の考えを理解してもらうために、治療のアシスタントから始めてもらいます。メンテナンスの勉強を始めるのは、その後。カリキュラムのうち、7割~8割できるようになったら、ほぼ一人立ちできると考えています。個室を担当できるまで、最低でも1年半はかかりますね」(史乃さん)

新人の教育係は、複数の先輩歯科衛生士が中心になって担当するが、スタッフ間の連絡を密に取り、全員



2階にある研修室



CTも完備されている

で見守る環境を整えている。カリキュラムを教えるスピードは新人の習得度に合わせて変わり、ときには内容を前後して教えることもある。また、知識・技術だけでなく歯科衛生士の仕事の素晴らしさ、やりがい、プロ意識を持って仕事をする大切さも伝えている。

個室を担当するようになってからも、史乃さんはすべてのカルテに目を通し、気になったところは付箋をつけて返している。スタッフも不安や疑問をカルテに書く習慣が身につけている。「市野歯科医院」では、カルテも重要なコミュニケーションツールなのだ。

「歯科衛生士が患者さんから口腔内を守る専門職として『先生、先生』と呼ばれることがあります。信頼されてると感じて、とてもうれしくなります。今、私は2人の子どもを育てながらの勤務なので担当も少ないのですが、その臨床の喜びがあるから、限られた時間でも現場から離れられません」(史乃さん)

地域に根ざし、順調に成長を続ける「市野歯科医院」の今後の目標は、「患者さんに喜んで通ってもらい、

スタッフがやりがいを感じながら働ける環境を充実させること」と市野院長と史乃さんは口を揃える。

「もう一つの夢は、医科と連携した歯科医院になることです。お年寄りになると服用している薬が歯の治療に影響することもあります。患者さんが生涯通えるように医科の先生と協力体制を築き、全身と口の健康を関連付けた診療ができるといいですね」(市野院長)



市野孝昌院長と市野史乃さん、スタッフのみなさん

PROFILE

市野 孝昌 先生

●2006年 鶴見大学歯学部歯学科卒業。同大歯学部付属病院に臨床研修医として勤務 ●2007年 山形愛心会 庄内余目病院 歯科口腔外科に勤務 ●2009年 佐々木歯科医院に勤務 ●2010年 日吉歯科診療所に勤務 ●2013年 医療法人社団あおば会市野歯科医院に勤務 ●2014年 市野歯科医院院長を継承 ●2015年 現在地に新築移転

市野 史乃 歯科衛生士

●2003年 青山学院女子短期大学卒業。三井住友海上火災に勤務 ●2008年 三井住友海上火災を退職。日吉歯科診療所に受付として勤務 ●2012年 山形歯科専門学校卒業。日吉歯科診療所に歯科衛生士として勤務 ●2014年 市野歯科医院に勤務

医療法人社団あおば会 市野歯科医院 住所：静岡県磐田市中泉4-6-14 TEL:0538-37-0648 HP:<https://iwataichino.wixsite.com/dentalclinic>



窓から明るい陽が差し込む診療室



「小山歯科・矯正歯科クリニック」は朝霞駅前のオフィスビル3階にある

いち早く訪問歯科診療に 取り組み、得意のIT技術を 診療と介護に生かす

「小山歯科・矯正歯科クリニック」は
介護保険が始まった頃から訪問歯科診療に取り組む。
IT技術も積極的に取り入れた歯科医院の歩みを伺った。

医療法人社団 皓有会 理事長
小山歯科・矯正歯科クリニック
ゆりの木歯科・矯正歯科クリニック

院長
小山 和泉 先生



IT業界での勤務を経て 朝霞市に歯科医院を開業

「医療法人社団皓有会」は1998年、埼玉県・朝霞駅前にある「小山歯科・矯正歯科クリニック」(以下、小山歯科)の開業から始まった。現在、「小山歯科」のチェアは5台。1日50人前後が来院し、半数はメンテナンスだ。

2000年からは、一般歯科の診療と並行して、訪問看護師である妻の智代さんと協力し、訪問診療を始めた。

2007年に医療法人社団を設立。翌年、東京都・東武練馬駅前に「ゆりの木歯科・矯正歯科クリニック」(以下、ゆりの木歯科)を開業。それに合わせて、歯科医院名を「小山歯科クリニック」から「小山歯科・矯正歯科クリニック」の名称に変更した。

今年の1月には、よりリラックスした環境にしたいと、診療スペースをリニューアルした。

小山院長は異色の経歴を持つ。新潟大学歯学部に進学したのは、慶應義塾大学商学部の中退を経てのこと。「一生続けられる仕事を考えたとき、手先を使うことが得意だったこともあり、歯科医院の開業が最善と考えました。それで新潟大学へ入り直したのです」

国家試験にも合格したが、すぐに歯科医師の道へは進まず、コンピュータ専門学校へ入学。プログラマーの勉強をすることにした。

「これからは歯科医師もコンピュータの知識が絶対に必要になると思っていました。働き始めてからでは勉強時間の

確保が難しいと考え、いったん歯科から離れ、専門学校で勉強することにしたのです」

卒業前に、プログラマーとして日本ユニシスの関連会社に勤務。半導体製造システムの開発などに携わったが、歯科から完全に離れたわけではなかった。

「身につけた技術を歯科に活用しようと、マッキントッシュで稼働する歯科検診エキスパートシステムを独力で開発しました。ソニー株式会社さんに打診したところ、保健師さんに喜ばれ、採用されたのは、うれしかったですね」

他にも保険診療でブリッジ適応の可否を判定するシステム、歯科用レセプトコンピュータソフトの開発にも取り組んだ。それらの経験は、小山院長の大きな財産だ。

「プログラマーとして働いているとき、中国からの研修生に実力の差を見せつけられました。でも、そのおかげで、全部の仕事を一人でやろうと思わないほうがいいと気づいたのです。有能な人材を採用し、任せるところは任せられたほうが組織として成長します。この考えは、私の歯科経営の柱にもなっています」

早期から訪問診療に取り組み IT技術を医療に生かす

訪問診療を始めたのは開業から1年後、介護保険制度がスタートするタイミングだった。いち早く取り組むことになったのは、訪問看護師として働く智代さんが歯科の必



リニューアルしたばかりの診療スペース

要性を実感していたことが大きい。

「介護を受けるお年寄りの多くが、入れ歯や虫歯の悩みを持っていると、妻からよく聞かされていました。当時はノウハウも少なく、診療報酬も低いものでしたが、困っている患者さんを助けたい一心でした」

そして、訪問診療を始めたことが、東京都板橋区に「ゆりの木歯科」を新設することにつながった。

「小山歯科」の訪問範囲は16km圏内。朝霞市からは、東京都の練馬区や板橋区も含まれる。

「制度上、県をまたぐと、訪問で何う東京の患者さんは、現金でお支払いいただいたあと、健康保険を適用した差額をお返しする形でした。また、遠方から来ているという印象を与えることも気になっていました。そこで、都内に歯科医院があったほうが良いと考えたのです」

「ゆりの木歯科」の開院時、矯正歯科の名称を加えたのは、予防矯正が必要な小児患者の増加が影響している。

「マウスピース矯正を始めたのも、その頃からです。ニーズは今も増えているので、この春は一般歯科の先生に加え、成人の矯正やマウスピース矯正に強い先生、小児歯科の専門医を採用しました」

現在、「医療法人社団皓有会」には、常勤と非常勤の歯科医師を合わせて16名いる。外来と訪問専門の歯科衛生士を合わせて17名、看護師1名、歯科技工士1名、歯科助手6名、受付・事務8名という大所帯だ。

歯科治療は小山院長が、訪問診療は智代さんがスタッ

フを束ねている。

「訪問歯科に早くから携わったこともあり、介護での口腔ケアの大切さ、口腔ケアの方法など、多数のセミナー講師を務め、医学誌や論文にも執筆してきました」

地域の信頼も厚く、2004年からは埼玉県和光市長寿あんしん課コミュニティケア会議医療部会の常設メンバーにもなっている。

長年の小山院長の関心は、介護とAI技術の連携だ。アイデアと技術が結集したものの一つに、電球型の見守りシステムがある。AI学習による姿勢認識機能を備えた電球型デバイスで、たとえば、介護施設で暮らす高齢者の部屋に灯りとして取り付けると、転倒したり、誤嚥などの異変があったときに察知し、スタッフに自動的に知らせてくれる。

「当時大学院生だった中村晃一氏（現Idein株式会社CEO）と出会い、たった2人で研究し完成させたこのデバイスは医療機器展示会で注目を集め、特許も取得しました。IT技術を活用することで、介護や医療の人的負担を軽くできますし、施設経営の安定化や医療費の削減にも役立つのです」

歯を守る日々の治療に 欠かせないNd:YAGレーザー

小山院長の日々の治療に3台のNd:YAGレーザーは欠かせない。来院する患者の半数以上に使用している。



診療エリアの天井には明るいグリーンラインが走っている

電球型デバイス「SIGHT（後に改称）」



小山院長が中村氏と開発した電球型デバイス。センサとAI機能がコンパクトに組み込まれ、患者さんの呼吸機能の診断や、体調の急激な変化を速やかに察知。配線用コードも不要。電灯用ソケットに差し込むだけで使用できる。介護施設などで使用すると、遠隔地からの診断や入居者の異変の察知に役立つ

「歯周病が進行した部位や外せない補綴物があるところの根尖病巣、破折した歯を抜きたくない場合の保存など、Nd:YAGレーザーがなければ治療が進みません」

小山院長がNd:YAGレーザーと出会ったのは、7年前。「C&C」の誌上講座にも登場いただいた「医療法人社団は・匠会」の行田克則理事長のセミナーがきっかけだった。「使える症例の幅広さに驚きました。すぐにNd:YAGレーザーを購入したのです」

特にメリットを感じるのは、破折した歯根を保存する場合という。Nd:YAGレーザーで治療すると、真っ二つに割れているのに噛める状態が維持でき、患者も痛みなく過ごすことができる。

「何年も状態が維持できることは、不思議に思うほどです。他の方法では残せないでしょう」

小山院長のこれからの夢は、後進に歯科医療が持つ社会貢献の力を伝えることだ。

「歯科は患者さんの一生に寄り添うことができる、素晴らしい医療だと思います。しかし、患者さんからの信頼を長く得るには、技術と知識のアップデートが欠かせません。私はIT業界で働いた経験から、歯科のいい点と悪い点に気づきやすい。これからもその視点を大切に積極的に改善し、歯科医院の価値を高めていきたいです」



小山和泉院長（前列中央）と奥様で訪問看護師の智代さん（前列右から2番目）、スタッフのみなさん

PROFILE

小山 和泉 先生

- 1987年 新潟大学歯学部卒業 ●1989年 日本ユニシスの関連会社にプログラマーとして勤務 ●1994年 総合病院歯科に勤務 ●1998年 小山歯科クリニック開業 ●2000年 訪問歯科診療を開始 ●2007年 医療法人社団皓会設立 ●2008年 ゆりの木歯科・矯正歯科クリニック開業。小山歯科・矯正歯科クリニックに改名。和光市口腔ケアセンターの運営を委託される
- 2015年 電球型の見守りセンサーを発表 ●2019年 新潟大学大学院医学総合研究所顎顔面放射線学分野修了。歯学博士号取得 ●日本口腔衛生学会 ●日本老年歯科医学会 ●日本生体医工学学会 ●日本遠隔医療学会 ●日本歯科人工知能研究会

医療法人社団皓会

小山歯科・矯正歯科クリニック

ゆりの木歯科・矯正歯科クリニック

HP: <https://www.koyama-shika.com/>

住所: 埼玉県朝霞市仲町2-2-44 パールウイング3F TEL: 048-461-1181

住所: 東京都板橋区徳丸3-17-11 TEL: 03-6277-7061



待合室のある天井から床までの大きなガラス窓が外からも目をひく



代官山松山歯科
歯学博士 松山 智子
TEL & FAX : 03-6712-7345

看板にあしらわれたシンボルは花も松山院長がデザインした



カウンターテーブルや椅子などシックな内装の受付

Nd:YAGレーザーを筆頭に 施術と知識の研鑽を重ね 歯を守る最善の治療に 真摯に取り組む

東京・代官山にある「代官山松山歯科」は、Nd:YAGレーザーを駆使し、患者の歯を守る治療に誠実に取り組んでいる。これまでの歩みとこれからを伺ってみた。



代官山松山歯科 院長 松山 智子 先生

明るく居心地のよい歯科医院を 2017年に開業

「代官山松山歯科」は、東横線代官山駅から徒歩5分ほどのビルの1階にある。ユニットは2台を設置。待合室の大きな窓から明るい光が差し込み、受付のブラウンのカウンターが温かく患者を迎えてくれる。

松山智子院長が開業したのは、2017年。自分の足で、数多くの物件にあたり、ようやく現在の場所を見つけた。「沿線の駅を一つひとつ降りて、不動産屋さんを巡ったり、テナント探しには苦労しました。今の場所は足を踏み入れた瞬間に気に入りました。振り返ってみると、以前、代官山を訪れたとき、こんな素敵な場所で開業できたらいいなとは思っていたんです。理想的なテナントで開業できて本当に幸せです」と話す。

行田理事長の臨床を 間近で学んだ勤務医時代

松山院長は、2002年から「医療法人社団 は・匠会」の行田克則理事長による「上北沢歯科」「四谷三栄町歯科」に勤務してきた。いわゆる「行田メソッド」を含むNd:YAGレーザーによる治療を始め、行田理事長オリジナル

の臨床を間近で学び、心身に叩き込んでの開業だった。「行田先生は診療に関してはとても厳しかったです。大学院を修了した私は、最初は非常勤として、意気揚々と上北沢歯科で働き始めました。でもすぐに自分が何もできないことに気づいたんです。ショックでした」

行田理事長の治療は、技術はもちろん、歯科材料の選択や使い方にもオリジナルの工夫があった。松山院長は、行田理事長の治療レベルの高さやスピード、よりよい治療を求める熱意など、すべての面で圧倒されたという。「なぜ自分はできないんだろう、と何度、泣きながら帰ったかわかりません。悩む日々でした」

しかし、それでも松山院長の「行田先生のような歯科医師になりたい」という情熱が冷めることはなかった。毎日、指示されたことやできなかったことを細かくノートに記録した。続けていくと、自分の失敗が、いくつかのパターンに分類できることに気づいた。足りない部分が見えてくると、必要な勉強に気づくようになる。

「忘れられない思い出はたくさんありますが、どうしてもうまく行田先生の指示に応えられなかったことから、一時期、チェアのそばに立たせてもらえなかったことがありました。そうすると、やることはありません。それでも何かしたいと院内を掃除していたんです」

準備室の掃除をしていたときだ。整理整頓をするうちに、院内の歯科材料をすべて覚えていた。「診療の準備がわかれば、治療も理解しやすくなります。



Nd:YAGレーザーの配置や動線も考え抜かれた診療室

歯科材料を覚えたことは一つの例ですが、そんなふうに行田先生の治療を一つひとつ、時間をかけて学んでいきました」

そして自身の歯科医院を開業する頃には、行田理事長の臨床を理解し、少しずつ結果が出せるようになった。

仕事に真摯に向き合い 研鑽を重ねる

松山院長は、「歯科医師は、人生を賭けて真摯に向き合うべき仕事」と繰り返す。そう言い切るのは、さまざまな荒波を乗り越えてきたからだ。

歯科医師を志したのは、母に幼い頃から「女性も手に職を持ちなさい」と聞かされてきたことが大きい。8歳年上の姉が歯科医師になり、影響を受けて同じ道を選んだ。「日本大学では大学総長賞や奨学金をいただいたり、順風満帆だったのですが、人生にはいろいろなことがありますね。日本大学大学院への進学では紆余曲折があり、女性がハンデになると気づく壁にもぶつかりました。それでも臨床に基づいた研究をしたいと考えるなかで、興味をひかれたのが、インプラントだったのです」

進学した東京医科歯科大学大学院では歯周病科に所属した。しかし、基礎研究が多く、臨床になかなか携われない。「少しでも臨床に近い研究を」と希望した矢先に教授から勧められたのが、Er:YAGレーザーの研究だった。同時にインプラントの研究も希望していたことからイ

ンプラント科の臨床も見学していた。充実した日々を過ごすなか、松山院長は歯石除去に苦勞する臨床現場を見学し、一つのアイデアを思いつく。

「プラスチック製スケーラーで歯石を除去してはいたのですが、すぐに折れてしまうんですね。かといって、金属製ではインプラントが傷ついてしまいます。そこで、私が思いついたのが、Er:YAGレーザーを使用してレーザースケーリングをすることでした」

教授から着眼点のよさを認められ、論文研究が許された。松山院長は持ち前の粘り強さを発揮し、インプラントの表面を傷つけず、発熱も許容範囲の出力に抑える基準を割り出し、卒業論文として発表。学位を取得した。その後、行田理事長の下でEr:YAGレーザーではなくNd:YAGレーザーの臨床を学び、その素晴らしさを実感して以降は、Nd:YAGレーザーを採用し日々の臨床に役立てている。

治療に集中できる 院内環境にこだわる

松山院長の治療へのこだわりは、診療室によく表れている。一つは、2台のユニットの間にある仕切り代わりにもなっているキャビネットだ。左側にあるNd:YAGレーザーを収納するスペースは、ファイバーを傷つけることのない高さと幅があり、出し入れしやすいサイズにぴったりと設計されている。



Nd:YAGレーザーがぴったりと収まる特注のキャビネット



開業するための記録ノート

「キャビネットは細かい部分まで、自分でサイズを慎重に決めてデザインして特注したものです。院内はとにかく診療のしやすさを優先して自分でおおまかに設計しました。気づくと院内の雰囲気もカラーも上北沢歯科に似ていました」

もう一つはユニットスペースの広さだ。治療中、Nd:YAGレーザーが取り回ししやすいように可動域を十分に取った。「Nd:YAGレーザーのファイバーの扱い方にも気を配っています。ファイバーが長いとひっかかって折れることがあります。私はそれを防ぐため、アンテナを使わず、ファイバーを数回、巻き、本体の横に粘着力の弱いテープで貼り付けています。また、フットスイッチの下に小さなマットを敷いて、床の傷を気にすることなく動かせるようにしています。ささいなことを感じるかもしれませんが、治療に集中し、高価なNd:YAGレーザーを長く大切に使うために必要な配慮だと思います」

さらにスケーラーやレントゲン撮影にもこだわりがある。スケーラーは操作性を優先し、ライトのない細いタイプを使用している。ライトが内蔵されているスケーラーも

必要な時があるため、チェアのワークテーブルにライト付きのスケーラーを取り付けた。

「レントゲンは行田先生の教でフィルムで撮影しています。デジタルよりフィルムで撮影したほうが画像に深みが出て、より正確な診断ができるからです」

現在、松山院長はスタッフを雇用せず、矯正やインプラントを含む診療から受付業務、院内の清掃まで、1人で行っている。「こんにちは」の挨拶から、「さようなら」と送り出すまで、院内のすべての仕事と責任を自分が担うことで、患者一人ひとりと真摯に向き合いたいと考えているからだ。「私の臨床に自分のオリジナルはなく、すべて行田先生から学んだ臨床を行っています。難しい症例にぶつかると、上北沢歯科で行田先生が行っていた診療が映像として頭をめぐり、それが冷静な対応に役立っていると思います」

診療室を案内していただいている間、松山院長は幾度となく、こだわった部分の背景に行田理事長の教えがあることを話してくれた。そして、「一生を通じて学ぶことのできる師匠的存在の先生とめぐりあうことが、歯科医師の成長には大切だと思います」とも語った。

PROFILE

松山 智子 先生

●1997年 日本大学歯学部卒業。同大学病院研修医 ●2002年 東京医科歯科大学大学院修了。歯学博士取得。医療法人社団は・匠会／上北沢歯科に勤務 ●2007年 医療法人社団は・匠会／四谷三栄町歯科兼務 ●2017年代官山松山歯科開業

代官山松山歯科

住所：東京都渋谷区恵比寿西1-30-16 オアシス代官山1階 TEL:03-6712-7345

多様な症例に使用できる Nd:YAGレーザーの臨床応用

Part.2

蔵田和史先生が講師を務めるNd:YAGレーザーの誌上講座PART2。今号は「破折歯への対応症例」について。蔵田先生は、ジャパンデンタルショー2021「ササキスペシャルセミナー」の講師にも登場。前号の誌上講座と共に、ササキのホームページで公開中のセミナー動画も、ぜひご覧いただきたい(9月30日まで公開)。

PROFILE



医療法人社団 Ku Smile
くらた歯科クリニック

院長 蔵田 和史 先生

- 2009年 福岡歯科大学歯学部卒業。同歯科大学医科歯科総合病院研修医
- 2010年 福岡歯科大学医科歯科総合病院 歯周病学分野医局員
- 2014年 セントラル歯科副院長
- 2018年 くらた歯科クリニック開業
- 日本歯周病学会認定医
- 日本歯科保存学会認定医
- 日本糖尿病協会登録歯科医
- 口腔感染症予防外来認定医
- Swedentist
- イエテボリ大学 日本スクーリングディプロマ

私は5年程前にNd:YAGレーザーと出逢いました。それまでは、より良い治療をするためには日々の練習がすべてで、道具に頼るのは良くないと考えていました。しかし、勤務先の院長がNd:YAGレーザーを使用して実際に患者様の口内炎を治したり、歯周病治療に応用したりと、あらゆる症例で効果を発揮させていることを目の当たりにしました。そこから本格的にNd:YAGレーザーについて学び、練習をし、実際に患者様へ使用するようになりました。Nd:YAGレーザーの良いところは、ほとんどの症例で痛みがなく治療ができ、さらに出血も比較的少ないことです。そのため最近では小児へ応用することも多くなってきました。口内炎や小帯切除など、あらゆる症例に対応できることから、今後もなくてはならない装置だと思います。

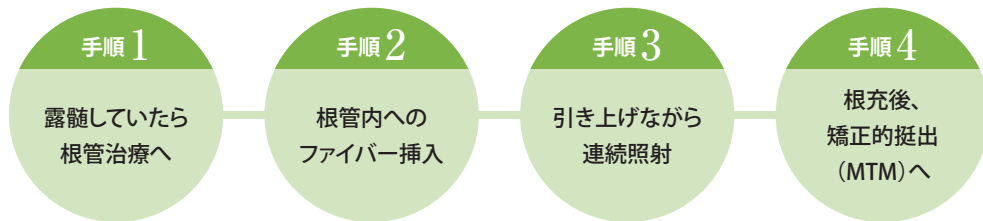
今回は、破折歯への対応について症例を解説します。



インパルス デンタルレーザー「Nd:YAGレーザー」
医療機器承認番号 21700BZY00507000

1 破折歯への対応.1 100mJ/20Hz(pps)

歯冠破折は状況により保存することが可能です。その際重要なのは、破折した部位(場所)と緊密な根管充填です。
ここではレーザーを用いて、より確実な根管治療を行うことが望ましいと考えられます。



症例

42歳 男性

主訴:数日前に転んで歯が折れた。
X線診にて根尖部に透過像を認める。また、歯冠破折により矯正の挺出が必要である。



2018年 6月



2018年 7月



2018年 7月



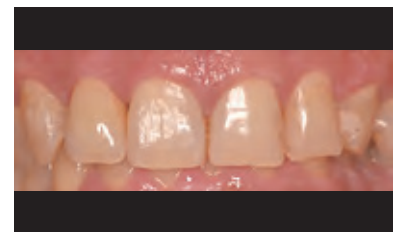
2018年 8月



2018年 7月



2018年 8月



2018年 8月



予後は良好であり、補綴物もセラミックで対応させていただいたため、
審美面も満足のいく形となりました。

2 破折歯への対応.2 100mJ/20Hz(pps)

咬合面部の亀裂(クラック)は、場合によっては抜髄を回避することができます。
その際にもレーザーを用いて殺菌することをお勧めします。

手順1

亀裂部に垂直に
ファイバーを
当てる

手順2

亀裂部を
なぞるように
照射

手順3

間歇的に行い、
歯髄への熱刺激を
抑える

手順4

数回繰り返す

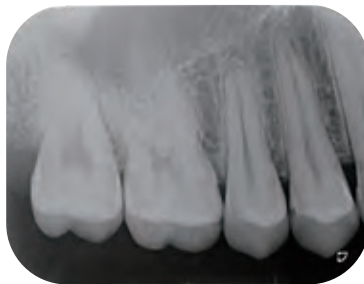
症例

32歳 男性

主訴：歯が割れた。
視診にて咬合面に亀裂を認め、またX線診にて歯根膜腔の拡大を認める。



2019年 1月



2019年 1月



2020年 1月



2019年 1月

2021年 2月

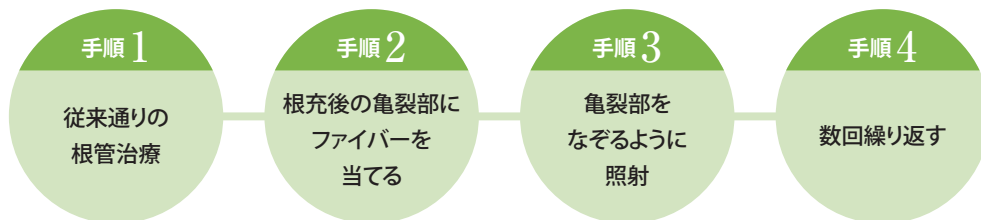


咬合力が強いために亀裂が生じています。
今後はマウスピースの装着が望ましいと考えられます。

3

破折歯への対応.3 100mJ/20Hz(pps)

咬合面の亀裂(クラック)は、深さによっては抜髄を余儀なくされることがあります。
その際にもレーザーを用いて殺菌することをお勧めします。



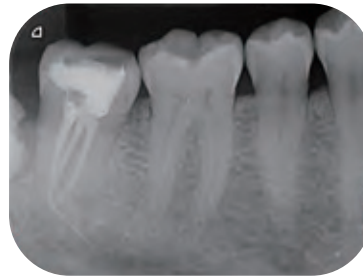
症例

50歳 女性

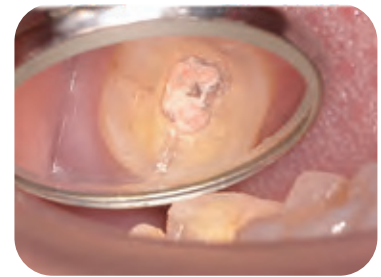
主訴:歯がしみる。視診にて咬合面に亀裂を認めるが、X線診では特記事項なし。



2019年 6月



2019年 7月



2019年 7月



2020年 1月



2022年 1月



咬合力が強く、抜髄処置に至りましたが、数年経過後も特に臨床症状はありません。

おわりに

最後に、従来通りの根管治療のみを行っていても同じような結果となる可能性もあります。しかしながら、少しでも成功率を上げるためには

レーザー治療は欠かせないと考えております。今後も引き続き、経過を追って報告できれば幸いです。

JAPAN DENTAL SHOW 2021

SASAKI SPECIAL SEMINAR

at PACIFICO YOKOHAMA

WEB配信 **公開中**

2022年3月4日(金)～6日(日)、パシフィコ横浜にて開催された
「ジャパンデンタルショー2021」のSASAKI展示ブースに於いて、第一線で活躍中の講師陣による
「ササキスペシャルセミナー」をご視聴いただけます。



三浦 敏美 先生
歯ブラシ1本から始める
医院改革

蔵田 和史 先生
Nd:YAGレーザーの
様々な臨床応用

荒井 昌海 先生
フルデジタル
インプラント治療の現在

行田 克則 先生
レーザーで治す
根尖病巣と歯根破折

宇土 武典 先生
新規開業において
後悔しないための医院作り

※この動画の掲載期間:2022年9月30日まで公開いたします。

ご視聴
方法

PC



ササキホームページTOPの
バナーをクリック。
<https://www.sasaki-kk.co.jp/>

スマホ



右記よりアクセス
してください。



 **SASAKI**
<https://www.sasaki-kk.co.jp>

SASAKI Care & Communication Vol.57 May 2022 お問い合わせ・ご意見:「C&C」事務局 細谷俊寛

FAX 0120-566-052 <https://www.sasaki-kk.co.jp>

発行:ササキ株式会社 東京都文京区本郷3-26-4 ササキビル4F

●本誌に記載された個人の氏名・住所・電話番号等の個人情報の悪用を禁じます。●本誌の記事・写真・図版等を無断で転載・複製することを禁じます。